

2018年度 第3回理事会議事録

【日時】2019年3月12日(火) 19:00～21:00

【会場】釧路市中園町24番10号杉元内科医院会議室

【出席者】(五十音順・敬称略)

理事長：杉元 重治

副理事長：竹田 匡 谷藤 公紀 望月 誠

理事：浅野 洋郎 稲荷 弥生 岡田 実継 金森 泰夫 宮前 彰彦
吉野 整子 米澤結実子 (計11名)

監事：若杉 貴子 (計1名)

【欠席者】(五十音順・敬称略)

理事：細川 克裕 (1名)

監事：なし (0名)

議 事

1 定足数の確認

出席者11名により、理事総数の過半数(7名)を上回っていることを確認した。

2 議長選任

定款第35条にもとづき、杉元理事長が望月副理事長を指名し議長に就任した。

3 議事録署名人選任

定款第38条にもとづき、望月副理事長と杉元理事長を議事録署名人とした。

4 開会挨拶

杉元理事長から開会の挨拶があった。

5 協議事項

(1) 2019年度事業計画及び中期計画について (資料1)

資料1に基づき竹田副理事長から説明を行い、協議を行う。

○ 次年度の事業としてサロン、研修会、TC、助成金事業を実施することとし、さらには、今後の事業展開として在宅医療・介護連携推進事業中、相談支援に関しても当法人として実施していくことを目指したい。

○ 2月9日に行った演劇について、一般の参加者の声から再演を行いたい。5月下旬に実施していきたい。演劇の後にポイントを解説するのはどうか。これまでに制作した動画等を配信してはどうか。

○ まなぼっとの大ホールで開催する。

○ キリンの助成金は活用できないのか。

○ 5月の開催では活用は難しい。

○ 演劇の出演者等の予定から5月下旬とした。

○ 2月9日の演劇の台本の売り上げについては当法人に寄付して頂く予定。

○ 当法人が実施するとしたら、誰を対象として何を伝えるのか。演劇の良さを活かしながら、どのように伝えていくのか。

○ 演劇の時間はどのぐらいか。

- 40分ぐらい。
- 演劇を選択した理由は。
- 療養の選択肢やサービス等の理解、本人の背景や気持ちを演劇を通して理解を促していく。
- お金のある人は施設、お金のない人は在宅。資源がないためにあきらめてしまう現状がある。自分らしく生きるを支える医療・ケアを実現するために伝えられること。
- 当法人なりにリメイク版とするのであれば、メッセージを伝える必要がある。
- 在宅医療に関して理解が不十分な状況もある。
- 本人や家族が関係者にきちんと伝える必要があるのではないかな。
- 前回の主催者では限界があり、当法人として伝えられることがあるのではないかな。当法人のメッセージを伝えていくことができるのではないかな。
- 病院のセッティングにパーツとして呼ばれることがある。自分が暮らしたいを支えるチームを、自分で作れると良いと思う。
- 3月21日の研修会では、透析をやめるという選択肢を動画でみせる予定。自分たちの考え方も変わる。
- 透析中止を上げられた。危険でできないと言われた。やめた後の選択肢の提示が少ないので、教えて欲しいという相談があった。
- 選択こそ、自分らしく生きることにつながる。
- 演劇からどのようにつながられるかを考える必要がある。
- 当法人が主催として実施したい。関係団体との共催で開催することとしたい。
- 経費の問題をどのように解決していくのかを考える必要がある。
- キリン地域の力の助成金は活用できないものかな。
- 他団体主催で当法人が共催という方法はあるのではないかな。
- 演劇の内容を解説や意味づけしていくことになるのではないかな。
- あまりに深堀すると捉え方が変わるのではないかな。振り返って、実際との対比をするのはどうか。
- あまりに長い時間はどうかと思う。この前の振り返りは10分ぐらいで終わったので良かった。振り返りの時間が長くなると参加者が疲れてしまうのではないかな。在宅という選択肢が感動をもって伝わった。切り口としては良かったのではないかな。もう一度観たいが、どのように連動するが良いかな。イメージがつかない。
- 演劇だけを当法人としての事業として実施するのはいかなものかな。
- 提案する側の意図をどのように伝えるのが大切だと思う。

以上の議論を経て、当法人として実施することを確認するも、日程的に5月末に開催する場合に企画をさらに詰めて周知していくことは現実的には難しいことを確認した。

(2) キリン地域の力助成金事業について

- 琉球大学医学部附属病院 臨床倫理士(倫理コンサルタント)金城隆展氏を第一順位として依頼することとして決定する。日程調整は谷藤副理事長が担当することとした。

(3) 研修会について

- 次年度は岡田理事と金森理事が講師を務めることを決定する。

(4) サロンについて

- 次年度もこれまでの4病院での開催とし、追加で病院・医院に依頼していくこととしたい。さらには、公募していくこととしたい。
 - 特別養護老人ホーム等の介護施設で開催してはどうか。
 - 介護施設の職員も人員の確保が難しく危機的状況である。
 - 特別養護老人ホームにも募集していくこととしたい。
 - 一律にアンケート等を実施しても協力を得られるかは不明なので、特別養護老人ホームのどこかに当たりをつけて開催していくこととしてはどうか。
- 以上のことから、医療機関の他に特別養護老人ホームでの開催を調整することとした。

(5) 助成金の申請について

- ・ 第31回NHK厚生文化事業団わかば基金の申請について (資料2)
資料2に基づき、竹田副理事長から説明があった。
 - しゃべって残しておいてくれると良い。
 - 映像や音声を残せると良いのではないか。
 - 人形等に聞いてもらおうとしゃべりやすい。
- 以上のことから、申請することを決定する。

6 報告事項

(1) 研修会(釧路一受けたい授業①)の開催について (資料3)

- 進捗状況について杉元理事長から動画を見せる予定であること、吉野理事からパワーポイントを作成中であることの報告が口頭であった。
- 駐車場と席の確保に滞りなく進めることを確認した。
- 会場の準備のため当日に11時に集合とした。

(2) 釧路市との委託契約締結及びサロン・研修会の実施について (資料4)

- 資料4に基づき、竹田副理事長から説明した。

(3) 会員の入退会について (資料5)

- 資料5に基づき、竹田副理事長から説明した。

7 閉会

(1) 次回 5月12日 19:00～

以上、この議事録が正確であることを証します。

2018年3月19日

議事録署名人 議長(副理事長) 望月 誠

議事録署名人 理事長 杉元 重治

